

「戦わないで勝つ」こそ本当にすごい!



このことばは、孫子せんせいのことばのなかでもとくによく知られているものだよ。「百戦百勝」というのは、戦えばいつでもどんなときでも勝てるという意味。もし、そんなことができるとしたら、すごいよね。だれだつてそうなりたいと思うはず。でも孫子せんせいは、本当にすごい勝ち方とは百戦百勝ではなくて、戦わないで勝つことだといっているよ。戦いはどんな場合でも、必ずたくさんエネルギーを使うもの。だから戦い続けると、からだもこころもヘトヘトになってしまう。そんな状態ですつと勝ち続けることができるのは、アニメやテレビドラマのなかだけ! それに、100回戦って100回勝つても、101戦目に2度と立ち上がれないほどひどい負け方をしてしまうかもしれないよ。だから本当にすごい勝ち方とは、できるだけ戦わないで勝つこと。友だちとケンカになりそうになったら、まずはケンカせずに勝てる方法を考えてみよう。

戦うことに疑問を感じたとき

1000回戦って

1000回勝てる人より、

戦わないで勝てる人が

本当にすごい人だよ。



百戦百勝は、善の善なる者に非ざるなり。戦わずして人の兵を屈するは、善の善なる者なり。

好き嫌いだけで判断するのはやめよう！



きみが将来の夢が見つからないと悩んでいるときや、進路に迷ったときに、ぜひこのことばを思い出してほしい。

孫子せんせいはこのことばで、なにかをはじめるときは、そのことが自分にとって有利か不利かをしっかり見きわめべきだといっているよ。当たり前えに思うかもしれないけれど、実際にそれを実行するのはなかなかむずかしい。自分の行動をふりかえてみると、有利か不利かではなく、好きか嫌いだけで行動してしまっていることが意外と多いことに、きみも気づくはずだよ。

孫子せんせいは、きみにとって有利か不利かは、好きか嫌いとはまったく別なことだと教えてくれているんだ。もちろんなにかをはじめるときには、好きか嫌いかという基準はとてみたいせつだよ。でもそれだけではなくて、有利か不利かという基準でも考えてみよう。

将来の夢が

見つからないとき

なにかを

はじめるときは、

自分が

「好きか嫌いか」

ではなく、

「有利か不利か」

で判断しよう。

利に合えば而ち動き、
利に合わざれば而ち止まる。



ときには困難から逃げよう！



困難に立ち向かっていく姿は、まるでヒーローのようだが、いいよね。でも、あまりに無理をしすぎて、きみのところやからだが悪化してしまったらいけないよ！ きみにとってたいせつなのは、「かっこいいね」「立派だね」と、人からほめられることではなくて、自分を危険な状態にしないようにすることなんだ。

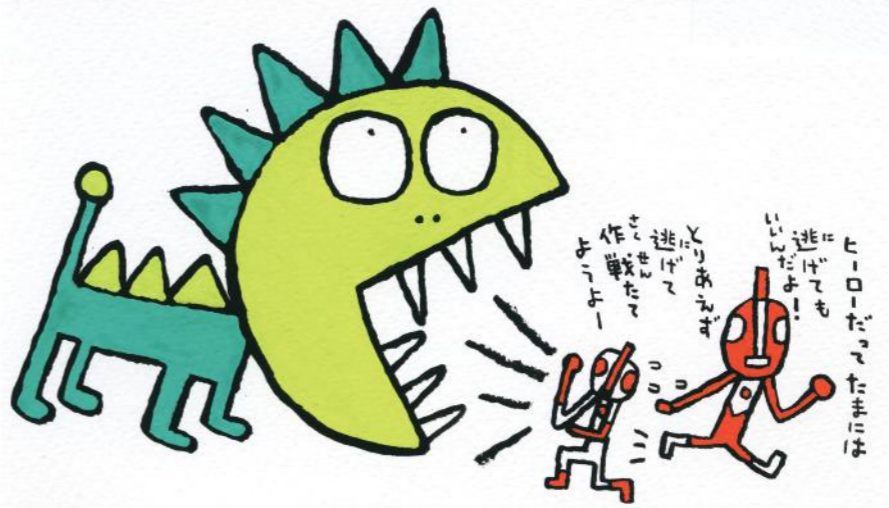
敵にかなわないなら逃げるべきだと、孫子せんせいもこのことばでいっているよ。もちろん、困難な状況でがんばらなければならぬときもある。だけど、もうこれ以上がんばれないというときは、逃げたってかまわないんだ。逃げることによって、困難から離れて、こころもからだもリセットすることができる。それは、その困難に再び挑戦するための準備になるかもしれないし、別のがんばりたいことを見つけるチャンスになるかもしれない。だから、逃げることは決してはずかしいことではないんだよ。

もう

がんばれない
気がしたら…

少なければ則ち能くこれを逃れ、
若かざれば則ち能くこれを避く。

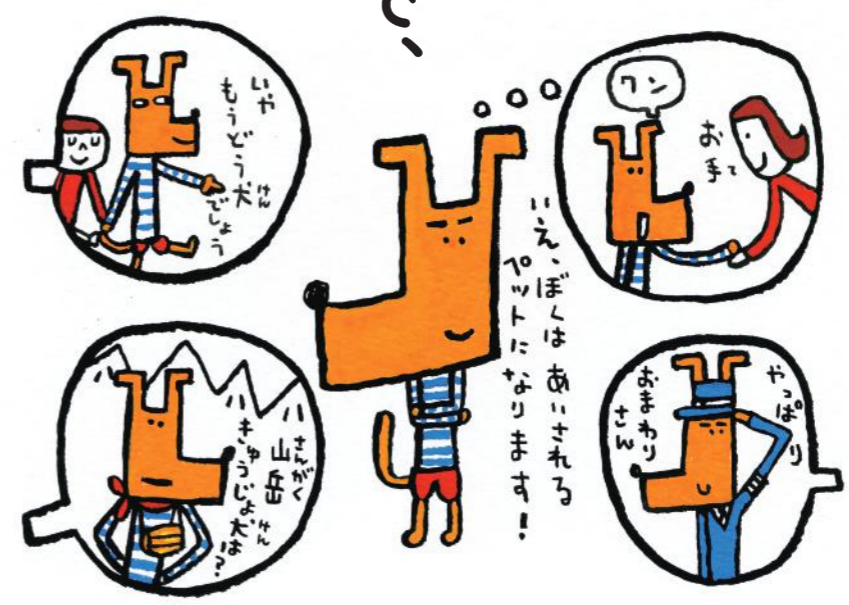
意味のある「逃げる」
だってあるんだよ。
かなわないなら、
さっさと
逃げてしまおう。



けつだん
決断のときが
やってきました!

よく戦う者は、
人を致すも人に致されず。

ほかの人の意見に
ふりまわされしないで、
自分で判断しよう。



じぶん
自分のことを決められるのは自分だけ!



孫子せんせいのことばにある「致す」というのは、思
いどおりにするということ。戦いがじょうずな人は、他人の
意見にふりまわされることなく、自分で判断することができ
ると、孫子せんせいはいつているよ。

わたしたちは、いろいろな人の影響を受けて成長するけれ
ど、けっしてその人たちの考えをなんでもそのまま受けとる
必要はないんだ。だって、その人たちとは性格も生きている
環境もちがうんだから、あたりまえだよ。いろいろな人の
考え方を学んで参考にするのはとてもだいじなことだけど、
それを自分にどうかすかはきみたち次第だよ。ほかの人の
意見にふりまわされていては、正しい判断をすることはでき
ないんだ。

自分がなにをしたいか、なにをするべきかを決められるの
は自分だけ。きみを導いていくナビゲーターは、ほかのだれ
でもない、きみだけだよ。